



平成 28 年 2 月 15 日

各 位

会社名 株式会社 京都ホテル  
代表者名 代表取締役社長 福永 法弘  
(コード 9723 東証第二部)  
問合せ先 取締役経理部長 西川 治彦  
(TEL 075-211-5111)

### 通期業績予想値と実績値との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成 27 年 2 月 13 日に公表しました、平成 27 年 12 月期（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）の通期業績予想値と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、特別損失の計上についても、併せてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 通期業績予想値と実績値との差異について

平成 27 年 12 月期通期個別業績予想の修正（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日） (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	10,741	403	67	57	5 円 55 銭
当期実績値 (B)	10,765	561	168	△278	△26 円 73 銭
増減額 (B - A)	24	158	101	△335	—
増減率 (%)	0.2	39.2	150.7	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 12 月期)	10,508	122	△227	△345	△33 円 48 銭

(修正の理由)

売上高に関しましては、宿泊・宴会部門を中心に好調に推移したことに加え、原価管理の強化をはじめ諸経費の削減につとめた結果、売上高・営業利益・経常利益は所期の予想を上回るようになりました。一方で収益性が低い店舗で減損損失などの特別損失を計上したことから、当期純損失を計上しております。

#### 2. 特別損失の計上について

- ① ホテル内の改装工事に伴い、固定資産除却損を 76 百万円計上しております。
- ② 「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、固定資産の減損処理を実施し、214 百万円を特別損失として計上しております。
- ③ 店舗の閉店等に伴い発生する損失に備えるため、今後発生すると見込まれる損失額を 122 百万円計上しております。

これらにより上記を含む特別損失は合計 435 百万円となり、当期純利益の減少要因の一つとなりました。

上記の特別損失は、本日付にて公表いたしました「平成 27 年 12 月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に反映しております。

以 上